

事業所における自己評価結果（公表）

公表

令和4年10月1日

事業所名： こどもリハスタジオメロディー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	7	0	活動に応じて物品の出し入れを行い、活動スペースを十分とれるように配慮している。	
	②	職員の配置数は適切である	7	0	安全確保が行える職員配置数となっている。	利用者数によっては余剰人員が出てしまうことがある。
	③	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	朝の会で日付の確認・季節の歌を歌うなどの活動があったり壁面飾りに季節感があったりと季節の移り変わりを感じる工夫はされている。 クッション性のマットを置いたり、転落しそうな箇所はブロック等で埋めている。	活動の区切りが見えづらく、児童のペースではなく、職員のペースによって活動の流れができてしまっている。 引き戸で利用児が手を挟みやすい。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	7	0	毎日、日常的な清掃を行い、おもちゃや絵本なども使用の度に細やかな消毒を行っている。	エアコン等の時間がかかる清掃は行き届いていない。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	不定期ではあるが職員会議が行われ、問題提起が行われている。	職員会議の開催回数が少なく、議題も業務報告やアクシデントへの是正案を話し合うに留まっている。児童の発達促進等に関する事項についても話し合う機会を持ちたい。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	年1回事業所評価を行っている。また、モニタリングや送迎時にも情報収集に努め、意向の確認を行っている。	

業務改善

適切な支

⑦	事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価および改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	ホームページでの開示、保護者へ印刷物を通じての開示を行っている。	一部の情報をパンフレットに掲載する、事業所の説明を行う際に持参して判断材料の一部としてもらうなど、当事業所にまだ興味を持っていただけていない層にもアピールできるようにしていきたい。
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げている	7	0	問題が生じた際には第三者委員会により、助言を受けられるように連携関係にある。	事業所評価を活用するなどして現在よりも第三者委員会に運営について興味を持ってもらえるように工夫していきたい。
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	業務で外部の研修等に参加した際には伝達講習会を行っている。	療育や小児の看護技術など専門的な内部研修を定期的に行いたい。
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	各業種間ではアセスメントが行えている。	各業種間でのアセスメント後に事業所全体として総合的なアセスメントを十分に行える機会を持ちたい。
⑪	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	適切なアセスメントツールの選定準備中。	適切なアセスメントツールを用いた評価を定期的に行っていくたい。

援
の
提
供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2	各児童に応じた現状の問題点をアセスメントから抽出している。	児童発達支援ガイドラインの支援内容項目一覧を参照しながら支援計画を作成していきたい。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	支援計画案を確認したうえで支援に当たっている。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	療育は保育士、訓練はリハビリテーションスタッフがチームでプログラムを立案している。	療育プログラムの内容について関係する全職種で検討する機会を持てるようにしたい。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	季節に応じた活動を考案し提供している。	バリエーションの拡大を図っていけるよう、話し合う機会を持てるようにしたい。

⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	0	個別活動をリハビリテーションスタッフが、集団活動を保育士が主に担当し、児童発達支援計画に反映させている。	
⑪	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	毎朝、ミーティングを行っている。	さらに細やかな役割分担を行うことで、利用児が理解しやすい療育づくりを目指したい。
⑫	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	2	4	申し送りノートを活用することで、その日に起こったトピックスなどについては共有を図っている。	終業時のミーティングなど振り返りの方法を考案したい。
⑬	日々の支援に関して記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援記録を作成し、必要に応じて読み返すことで支援の一助としている。	
⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	モニタリングを丁寧に実施することで家庭での状況に照らし合わせた支援計画の作成に努めている。	

②①	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7	0	利用児に応じて参加者を選定し、参加している。	
②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	相談支援専門員や地域の保健師等と連携を図っている。	
②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0	相談支援専門員や地域の保健師等と連携を図っている。	
②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0	嘱託医、主治医等と連携を図っている。	

②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	保護者の相談に適宜対応している。	移行先の求めに応じて、情報提供書等の作成を実施していきたい。
②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	保護者の相談に適宜対応している。	移行先の求めに応じて、情報提供書等の作成を実施していきたい。
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		感染対策を講じた上で開催される研修等に参加していきたい。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		感染対策を講じた上で交流を再開したい。

②⑨	(自立支援)協議会 子ども部会や地域の 子ども・子育て会議 等へ積極的に参加し ている	1	6	同グループ内でこども 部会に参加している職 員から情報を定期的 に入手している。	
③⑩	日ごろから子どもの 状況を保護者と伝え あい、子どもの発達 の状況や課題につ いて共通理解を持っ ている	7	0	送迎時や連絡帳を用 いて様子を伝えあ う事ができている。	送迎時の情報交換は過剰になると他利用児の安全確保や感染対策の観点から好ましくない為、5分以内で完結できるように努める。
③⑪	保護者の対応力の向 上を図る観点から、 保護者に対して家族 支点プログラム（ペ アレント・トレーニ ング等）の支援を行 っている	4	3	ニーズに応じて自宅 でのセルフトレーニ ングを指導している。	
③⑫	運営規定、利用者負 担等について丁寧な 説明を行っている	7	0	契約時に契約書及び 重要事項説明書の読 み合わせを保護者と 行っている。	
③⑬	児童発達支援ガイド ラインの「児童発達 支援の提供すべき支 援内容と、これに基 づく作成された「児 童発達支援計画」を 示しながら支援内 容の説明を行い、保 護者から児童発達支 援計画の同意を得て いる	7	0	児童発達支援管理責 任者が主に説明を行 い、不足があれば各 職種が補足している。	

③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	収集した情報をもとに助言や支援方法の提案を行っている。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		感染対策を講じた上で可能であれば保護者会等を再開したい。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	意見箱や苦情申し立て窓口を設置している。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	会報誌およびSNSを通じて情報の発信を行っている。	

③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	7	0	個人情報保護法を遵守して対応している。	
③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	自己決定を促す言葉がけを行っている。	
④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		感染対策を講じた上で可能であれば地域住民参加型のイベントを再開したい。
④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	緊急時対応マニュアルの改定を行っている。	保護者への周知を行い、理解を得られるように努める。

非常時等の対応

④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	定期的な避難訓練を実施している。	地域住民を含めた避難訓練の実施が行えていない。
④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7	0	事業所内のスタッフスペースに即座に確認できるように掲示している。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	食物は自宅から持参されたもののみを提供している。 緊急時対応マニュアルにアレルギー情報を記載している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	院内LANを通じてヒヤリハットが閲覧できる。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	施設内研修を定期的実施している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	定期的な身体拘束会議を実施し、必要性について議論している。また会議内容をもとに同意書を作成し、保護者に説明して同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。